

大阪経済の情勢

(2023年3月指標を中心に)

2023年5月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチセンター)

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、 緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、新車販売台数は増加。家電販売額は減少。家計消費支出(近畿;2月)は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は減少。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、中国向け・ASEAN向け・アメリカ向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(2月)では、生産、出荷とともに低下。近畿の生産(2月)は上昇。全国の生産(3月)は上昇。企業倒産では、件数は改善、負債金額は悪化。雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(2月)は上昇。

先行きでは、新型コロナウイルス感染症の影響や、物価上昇等による経済への影響について、今後の動向に引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・観光	
	総合 一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
3月		↑	↑	↓	↑	↑	↓	↑	↑
2月	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑

		供給				
		生産		倒産	雇用	
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
3月		↑	↑	↓	↑	↓
2月	↓	↑	↓	↑	↓	

*前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

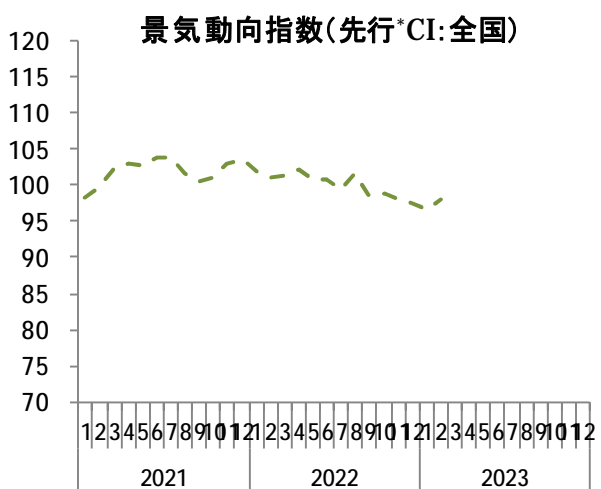
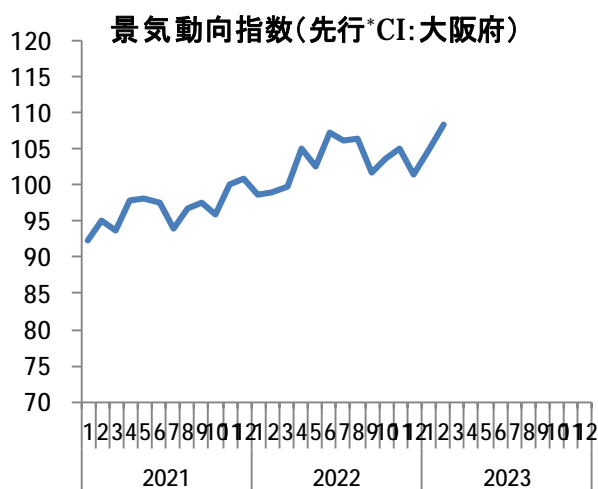
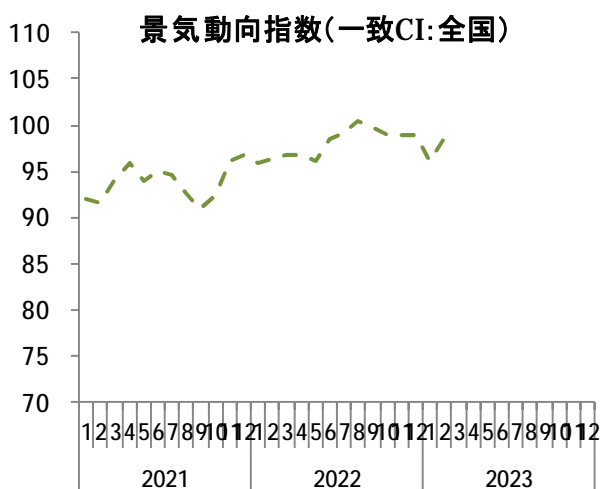
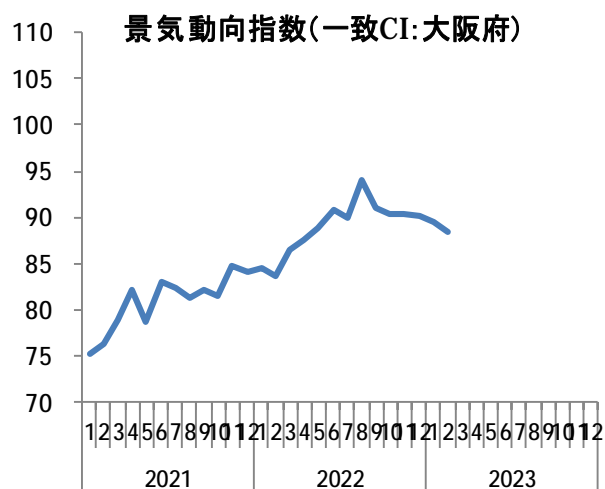
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2023年3月公表分) (2023年1月指標中心)	先月(2023年4月公表分) (2023年2月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター「大阪経済の情勢」	大阪経済は、緩やかに持ち直している。	大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。
内閣府「月例経済報告」	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
近畿経済産業局「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。
日本銀行大阪支店「関西金融経済動向」	関西の景気は、感染症抑制と経済活動の両立が進むもとの、持ち直している。	関西の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、感染症抑制と経済活動の両立が進むもとの、持ち直している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(2月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。大阪府(一致CI)では、主に「製造工業生産指数」「人件費比率(製造業)」が低下に寄与。全国(2月)の一致CI、先行CIはともに上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

* 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

大阪府			
	23年1月	2月	3月
先行CI	105.1	P 108.4	
一致CI	89.4	P 88.5	

全国			
	23年1月	2月	3月
先行CI	96.7	98.0	
一致CI	96.1	98.6	

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、2月速報)

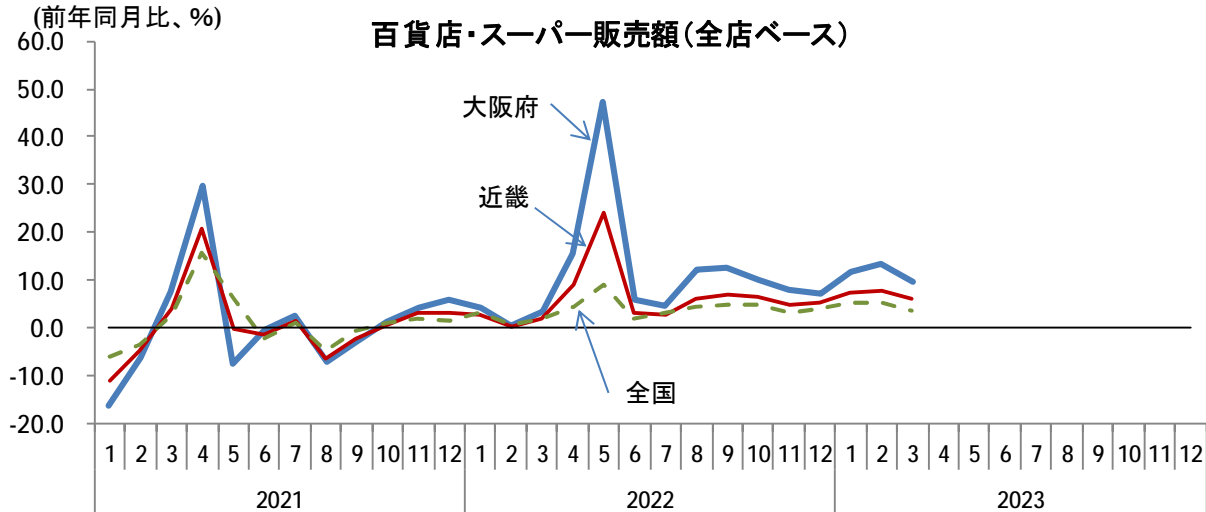
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
0.52	▲0.14	▲0.59	▲0.28	▲0.53	0.29	▲0.24

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、新車販売台数は増加。家電販売額は減少。家計消費支出(近畿;2月)は増加。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【18ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		23年1月	2月	3月
販売額(億円)	大阪府	1,489	1,363	P 1,531
前年比(%)	大阪府	11.7	13.3	P 9.8
	近畿	7.2	7.9	P 6.2
	全国	5.5	5.2	P 3.6

百貨店販売額(全店)

		23年1月	2月	3月
前年比(%)	大阪府	21.0	27.7	P 16.6
	全国	14.4	18.8	P 8.6

スーパー販売額(全店)

		23年1月	2月	3月
前年比(%)	大阪府	3.6	1.6	P 2.9
	全国	2.5	1.1	P 1.7

○コンビニエンスストア販売額(全店)【16ヶ月連続の増加。】

		23年1月	2月	3月
販売額(億円)	大阪府	708	660	P 757
前年比(%)	大阪府	8.3	9.1	P 8.7
	近畿	5.0	7.5	P 7.4
	全国	4.1	6.2	P 6.0

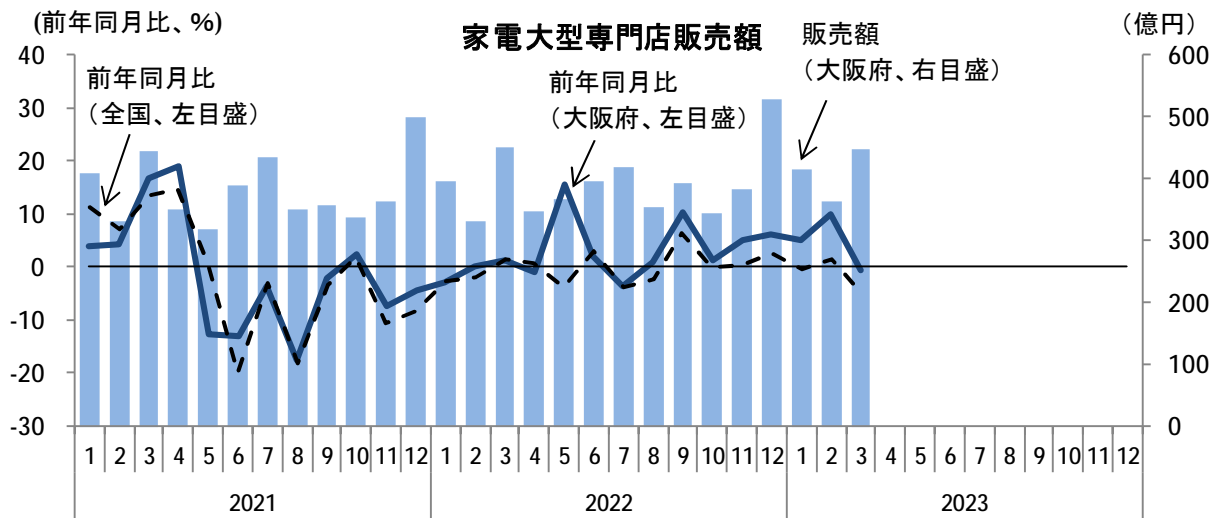
○家計消費支出【近畿(2月)は14ヶ月連続の増加。】

		23年1月	2月	3月
円	近畿	309,424	285,040	
前年比(%)	近畿	11.8	14.1	
	全国	4.8	5.6	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で8ヶ月ぶりの減少。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		23年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	4.9	9.8	P ▲0.5
	全国	▲0.3	1.3	P ▲4.6

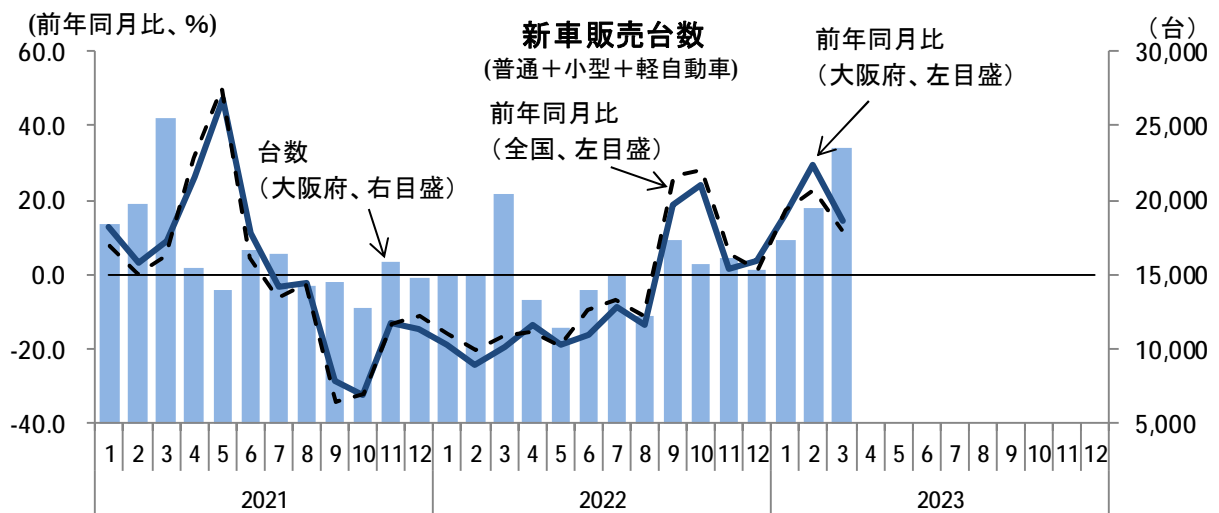
ドラッグストア販売額(全店)

		23年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	3.9	7.3	P 13.6
	全国	5.0	5.6	P 7.8

ホームセンター販売額(全店)

		23年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	▲3.8	▲1.3	P 1.7
	全国	▲1.4	0.1	P 0.3

○新車販売台数【前年同月比で7ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		23年1月	2月	3月
販売額(台)	大阪府	17,341	19,431	23,450
前年比 (%)	大阪府	15.9	29.6	14.5
	全国	17.4	22.9	12.1

車種別の増減

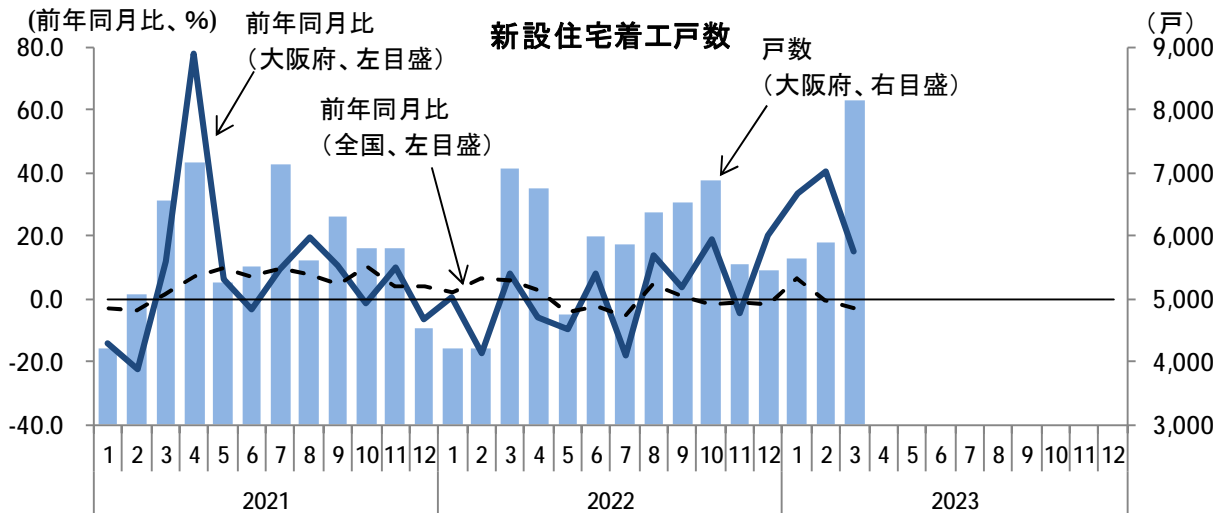
(大阪府、前年同月比(%)、3月)

普通車	小型車	軽自動車
25.6	5.6	2.5

[需要] 投資

投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は減少。

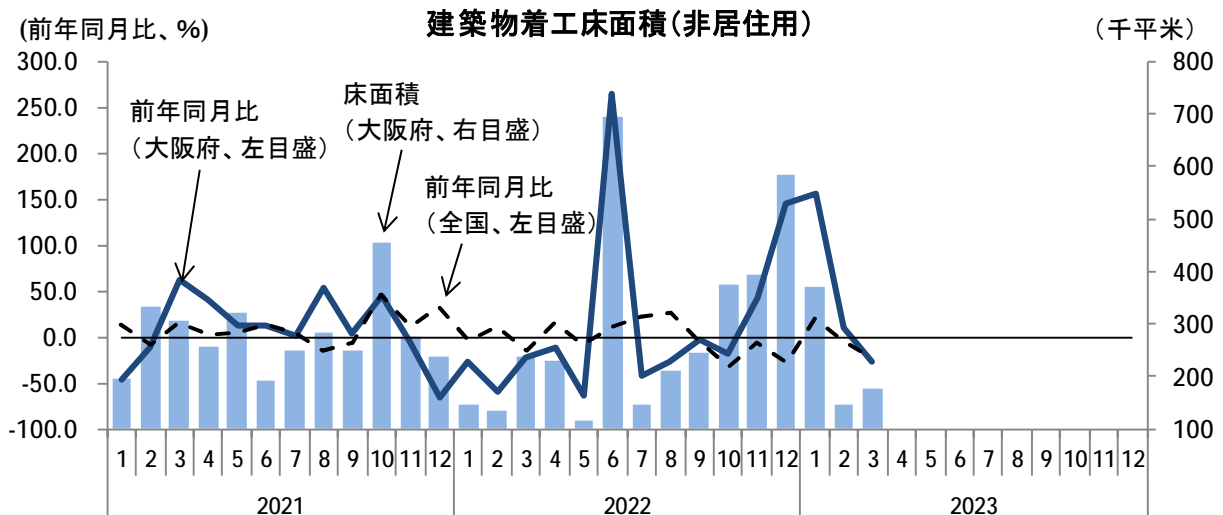
○新設住宅着工戸数【前年同月比で4ヶ月連続の増加。】



		23年1月	2月	3月
戸数	大阪府	5,640	5,910	8,137
前年比 (%)	大阪府	33.3	40.2	15.0
	全国	6.6	▲0.3	▲3.2

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%), 3月)		
持家	貸家	分譲
▲9.3	23.3	12.6

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で5ヶ月ぶりの減少。】



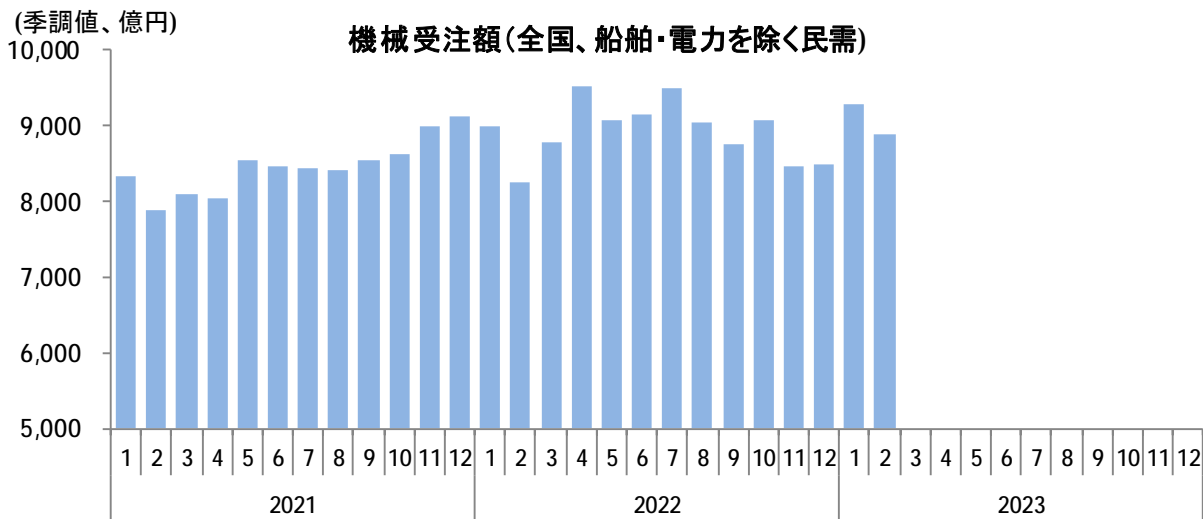
		23年1月	2月	3月
千 m ²	大阪府	372	148	178
前年比 (%)	大阪府	156.6	10.2	▲25.6
	全国	20.4	▲3.8	▲22.7

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%), 3月)	
増加	不動産業(14.6)
減少	その他サービス(▲26.0)、医療・福祉(▲12.1)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

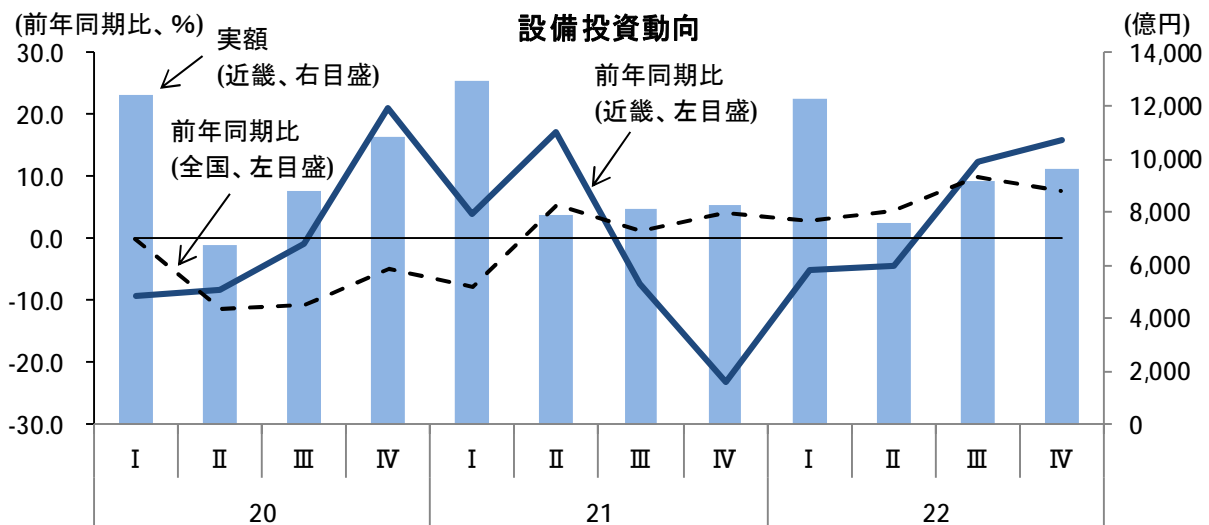
○機械受注額【2月(全国)は前月比で減少。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	23年1月	2月	3月
全国(億円)	9,296	8,880	

○設備投資動向【10~12月期(近畿)は前年同期比で2期連続の増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		22年4~6月	7~9月	10~12月
億円	近畿	7,557	9,160	9,616
前年同期比(%)	近畿	▲4.3	12.3	15.9
	全国	4.6	9.8	7.7

○公共工事請負金額【8ヶ月ぶりの減少。】

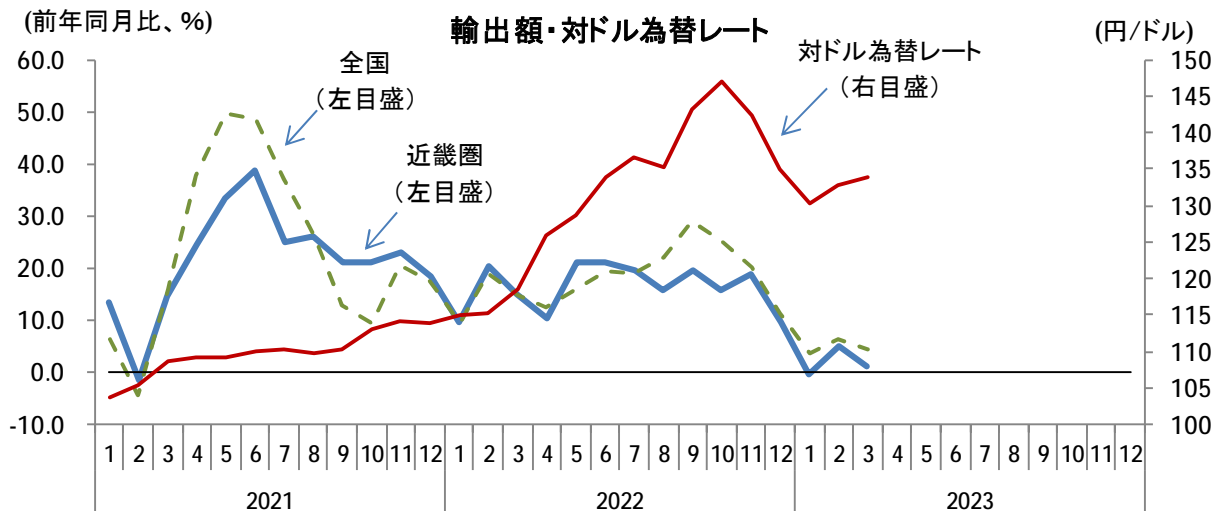
		23年1月	2月	3月
億円	大阪府	296	336	443
前年比(%)	大阪府	32.6	47.1	▲23.3
	全国	▲2.3	52.2	5.5

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、中国向け・ASEAN向け・アメリカ向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【2ヶ月連続の増加。「医薬品」、「原動機」などが増加。主要国・地域向けでは、中国向け・ASEAN向け・アメリカ向けで増加。】

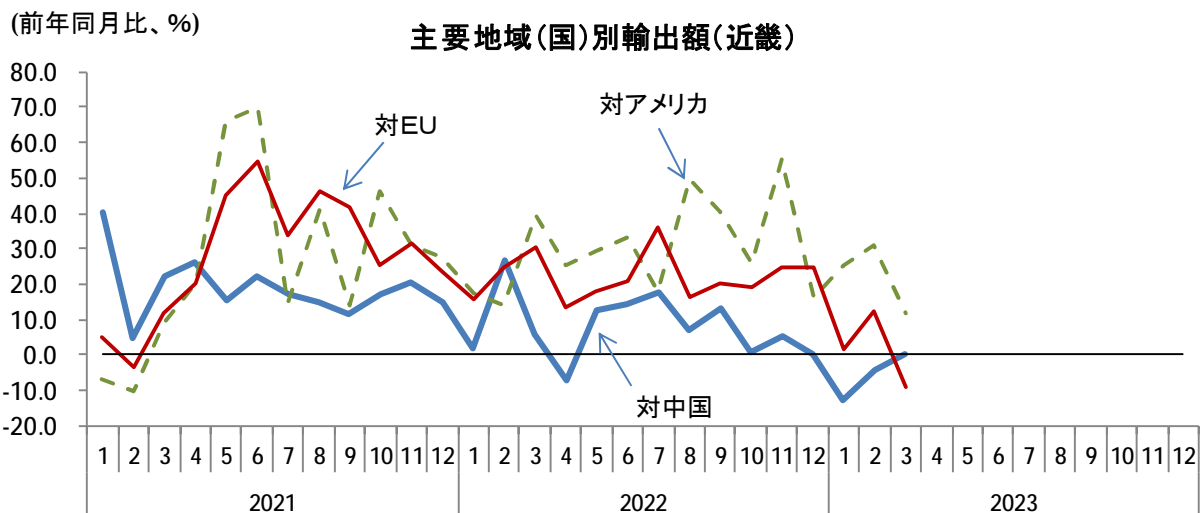


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		23年1月	2月	3月
輸出額(億円)	近畿	14,102	16,604	P 18,985
前年比 (%)	近畿	▲0.2	5.1	P 1.3
	全国	3.5	6.5	P 4.3
為替レート(円/ドル)		130.20	132.68	133.85

品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、3月)	
増加	医薬品、原動機
減少	半導体等電子部品、コンデンサー



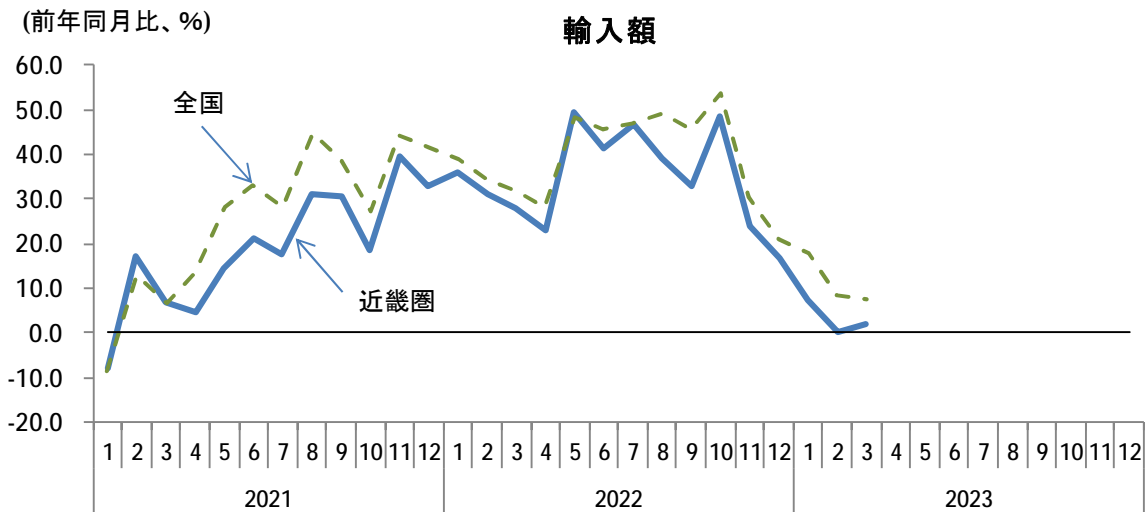
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、3月)

アジア(含む中国)	▲3.1	3ヶ月連続の減少
中国	0.3	3ヶ月ぶりの増加
ASEAN	2.4	25ヶ月連続の増加
EU	▲9.3	25ヶ月ぶりの減少
アメリカ	12.1	25ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【26ヶ月連続の増加。「原油及び粗油」、「衣類及び同附属品」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		23年1月	2月	3月
輸入額(億円)	近畿	16,909	P 14,078	P 16,345
前年比 (%)	近畿	7.3	P 0.2	P 2.0
	全国	17.6	P 8.3	P 7.3

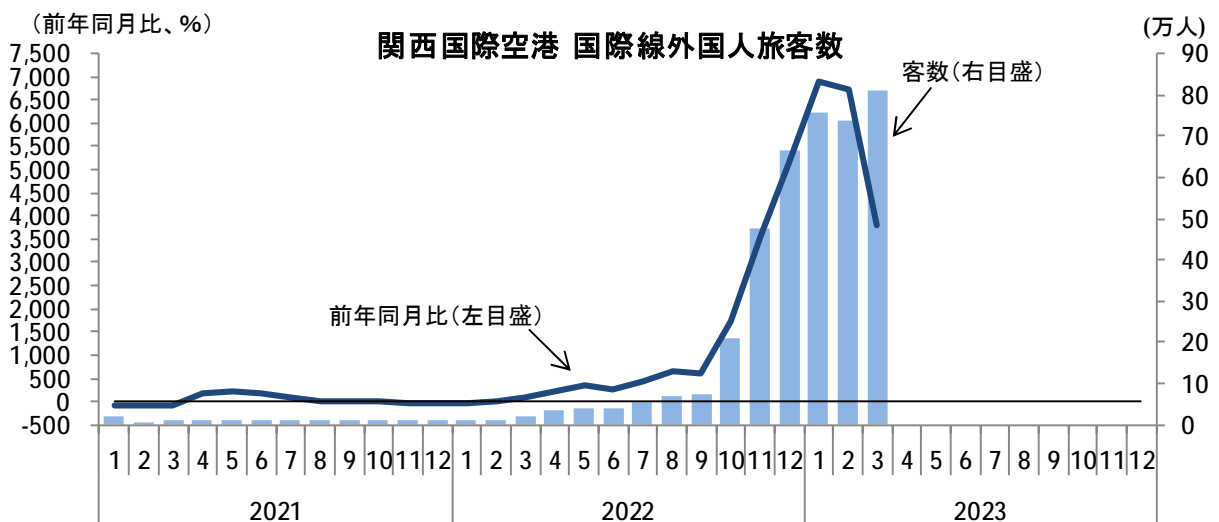
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、3月)

増加	原油及び粗油、衣類及び同附属品
減少	医薬品、通信機

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、3月

アジア(含む中国)	8.0	2ヶ月ぶりの増加
中国	10.4	2ヶ月ぶりの増加
ASEAN	13.7	26ヶ月連続の増加
EU	▲29.5	4ヶ月連続の減少
アメリカ	2.3	11ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で14ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)

	23年1月	2月	3月
万人	75.6	P 73.7	P 80.8
前年比(%)	6877.6	P 6727.7	P 3787.4

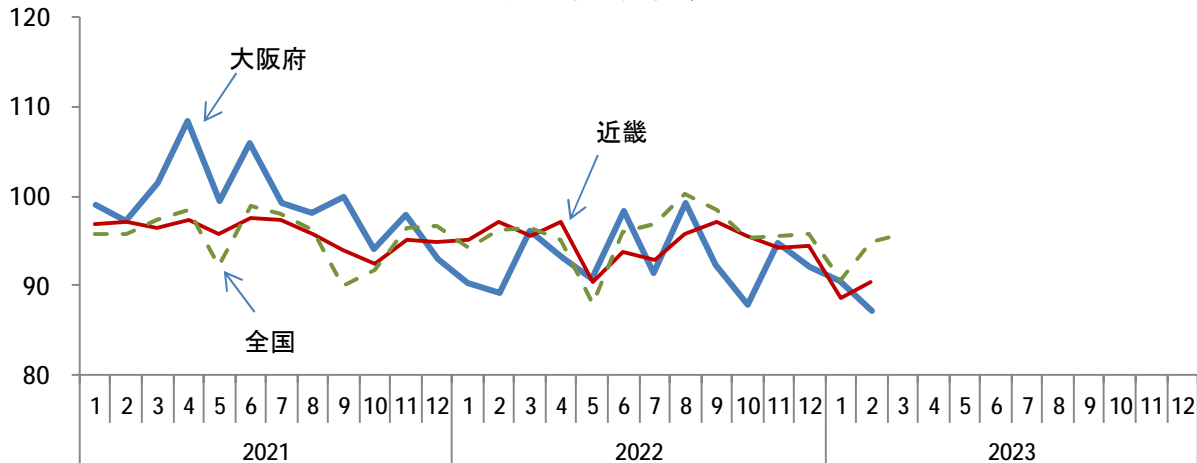
[供給] 生産・企業活動

生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(2月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(2月)は上昇。全国の生産(3月)は上昇。企業倒産では、件数は改善、負債金額は悪化。

○鉱工業生産指数【大阪府(2月)は3ヶ月連続の低下。「化学工業」、「電気・情報通信機械工業」などが低下。近畿(2月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(3月、鉱工業)は2ヶ月連続の上昇。】

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	23年1月	2月	3月
大阪府	90.6	P 87.1	
近畿	88.6	90.5	
全国	90.7	94.9	P 95.7

鉱工業出荷指数

季調済	23年1月	2月	3月
大阪府	88.0	P 85.8	
近畿	88.8	91.0	
全国	89.2	92.7	P 93.1

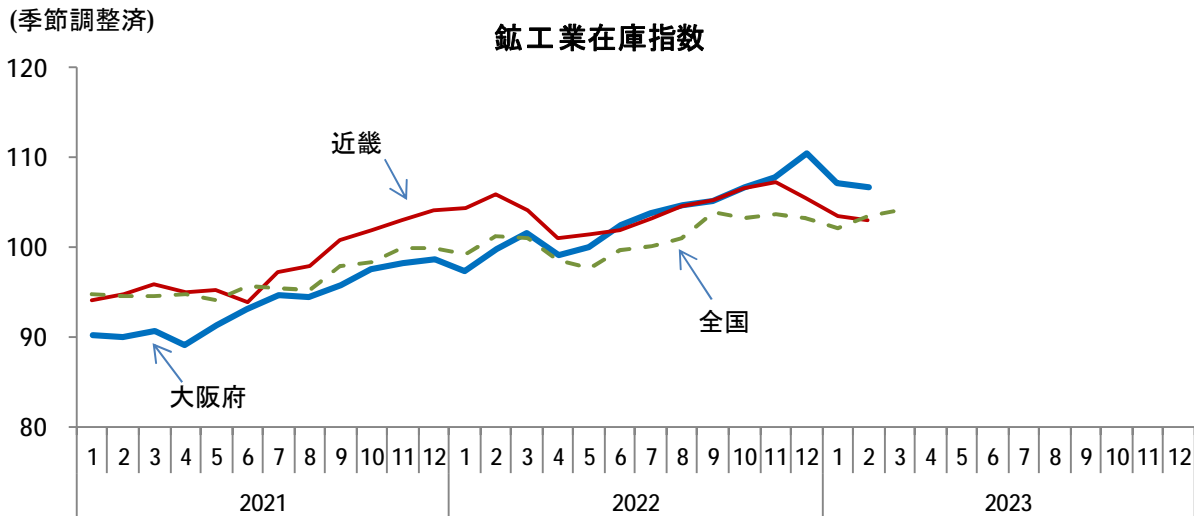
生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、2月速報)

上昇	食料品工業(11.7): チョコレート、ウイスキー 窯業・土石製品工業(24.5): 無アルカリガラス基板、光学用ガラス素地 その他工業(6.3): 平板印刷(オフセット印刷)、ステンレス製魔法瓶
低下	化学工業(▲25.8): 医薬品、アンモニア 電気・情報通信機械工業(▲8.2): アーク溶接機、セパレート形エアコン(室外) 生産用機械工業(▲3.7): 超硬工具、研削盤

[供給] 生産・企業活動

○**鉱工業在庫指数【大阪府(2月)は2ヶ月連続の低下。「金属製品工業」、「石油・石炭製品工業」などが低下。近畿(2月)は3ヶ月連続の低下。全国(3月)は2ヶ月連続の上昇。】**



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

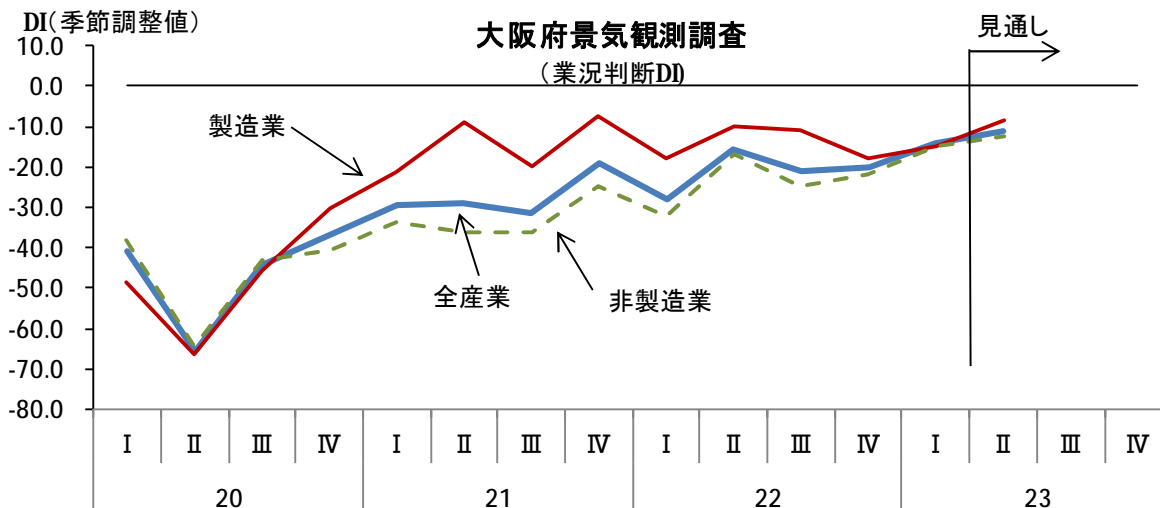
鉱工業在庫指数

季調済	23年1月	2月	3月
大阪府	107.2	P 106.6	
近畿	103.5	103.1	
全国	102.2	103.5	P 104.1

在庫指数における産業別の主な変動
 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、2月速報)

上昇	輸送機械工業(9.7): 電動アシスト自転車
	電気・情報通信機械工業(0.7): セパレート形エアコン(室外)、電気冷蔵庫
低下	金属製品工業(▲4.3): 飲料用アルミニウム缶、スチール製缶
	石油・石炭製品工業(▲12.1): 灯油、重油

○**企業の業況判断【1~3月期(全産業)は2期連続の改善。】**

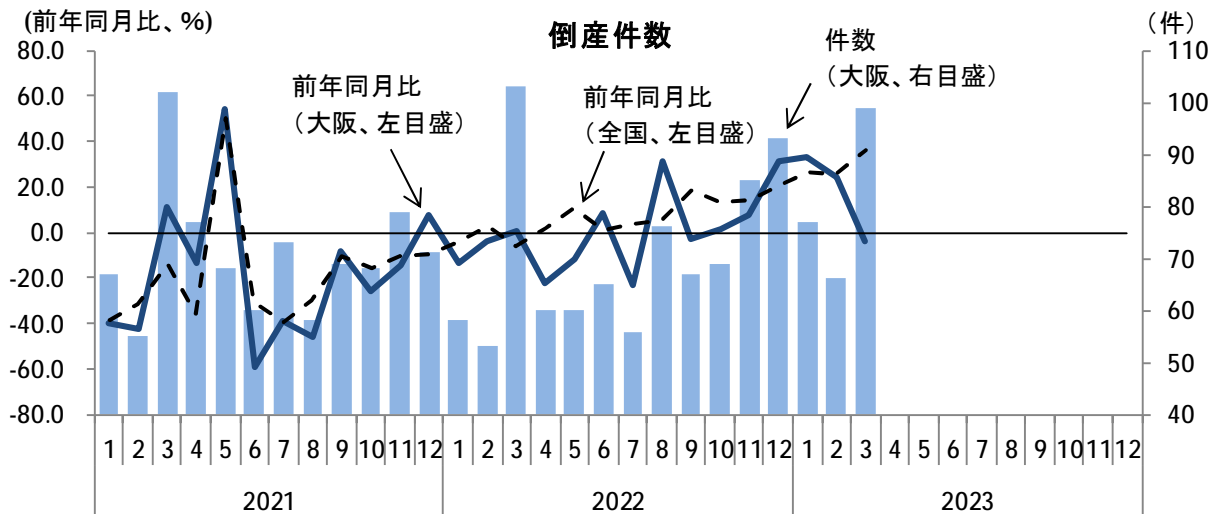


(資料)大阪産業経済リサーチセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	22年 7~9月	10~12月	23年1~3月	4~6月 (見込み)
製造業	▲11.2	▲17.8	▲14.8	▲8.4
非製造業	▲24.9	▲22.1	▲14.9	▲12.5
全産業	▲21.3	▲20.3	▲14.4	▲11.1

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で6ヶ月ぶりの減少(改善)、負債金額は前年同月比で2ヶ月ぶりの増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		23年1月	2月	3月
件	大阪府	77	66	99
前年比 (%)	大阪府	32.7	24.5	▲3.8
	全国	26.1	25.7	36.4

負債金額

		23年1月	2月	3月
億円	大阪府	60	55	115
前年比 (%)	大阪府	127.5	▲19.4	21.0
	全国	▲15.5	36.0	▲13.1

主要業種の倒産件数(大阪府)

	23年1月	2月	3月
建設業	12	13	18
製造業	8	6	13
卸売業	8	9	12
小売業	7	2	10
サービス業他	31	25	35

主な倒産(大阪府、3月)

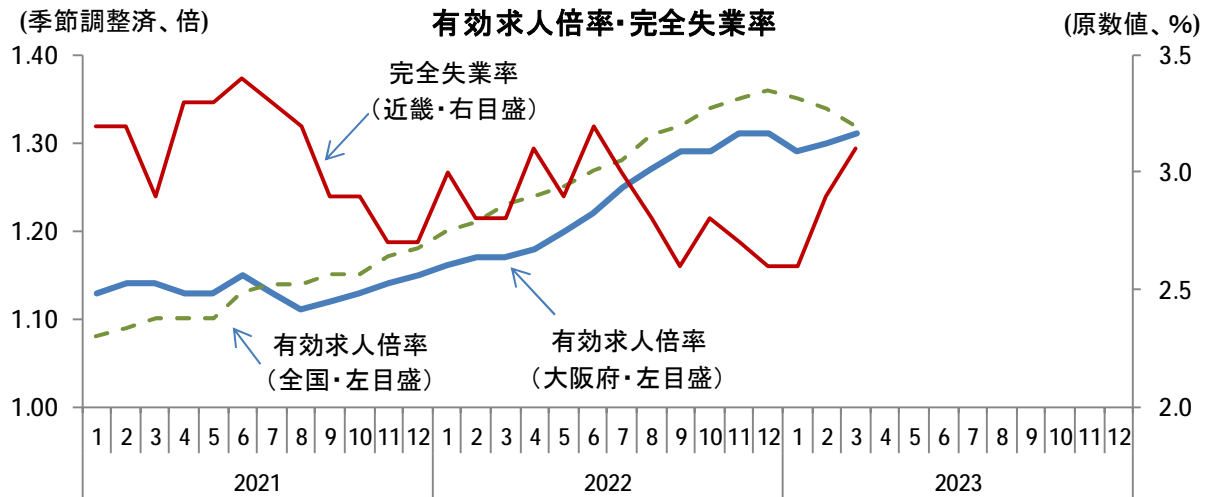
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
ピザ宅配店経営ほか	1,460	販売不振
民泊施設運営受託	1,100	販売不振
研磨盤製造・修理	1,000	販売不振
婦人・紳士靴卸	924	販売不振
生花販売	676	販売不振
エビ・カニ加工卸	500	販売不振
レディースアパレル製品販売	490	既往のシワ寄せ

[供給] 雇用

雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(2月)は上昇。

○完全失業率【近畿は前年比で2ヶ月連続の悪化】

有効求人倍率【大阪は2ヶ月連続の上昇】、新規求人倍率【大阪は7ヶ月ぶりの低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	23年1月	2月	3月
%	2.6	2.9	3.1
前年同月差	▲0.4	0.1	0.3

完全失業率(全国、季節調整値)

	23年1月	2月	3月
%	2.4	2.6	2.8
前月差	▲0.1	0.2	0.2

大阪府、近畿及び全国の完全失業率 (原数値、%)

	22年4~6月	7~9月	10~12月
大阪府	3.6	3.3	2.8
近畿	3.1	2.8	2.7
全国	2.7	2.6	2.4

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	23年1月	2月	3月
大阪府	1.29	1.30	1.31
全国	1.35	1.34	1.32

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	23年1月	2月	3月
大阪府	2.70	2.79	2.78
全国	2.38	2.32	2.29

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

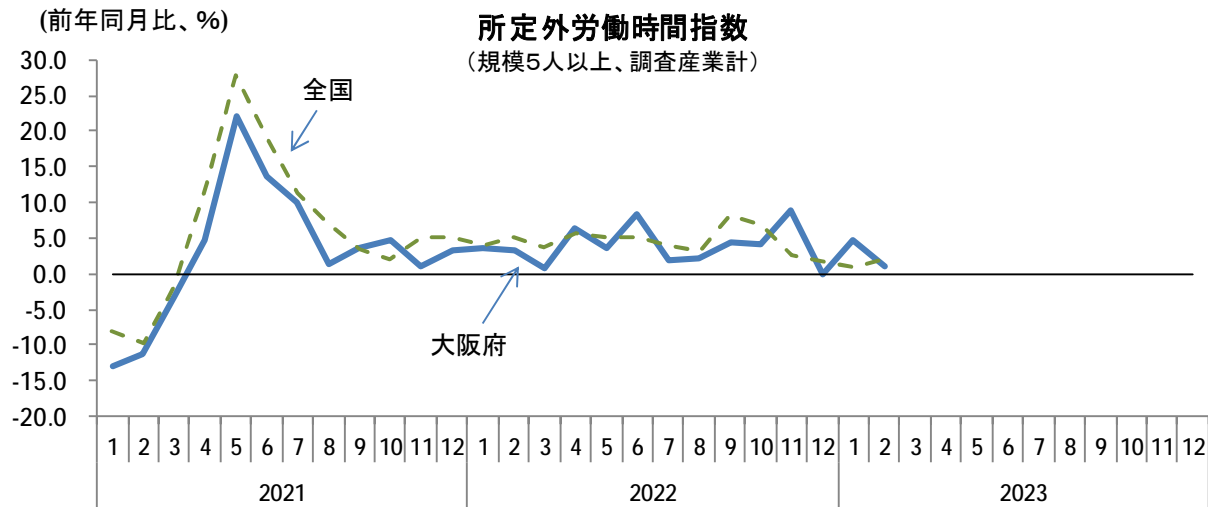
	23年1月	2月	3月
産業計	4.4	14.0	5.2
建設業	▲3.3	4.0	▲5.0
製造業	2.9	6.1	2.2
卸売業、小売業	3.9	21.4	15.2
宿泊業、 飲食サービス業	17.6	31.5	19.4
医療、福祉	▲1.3	12.0	2.9

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

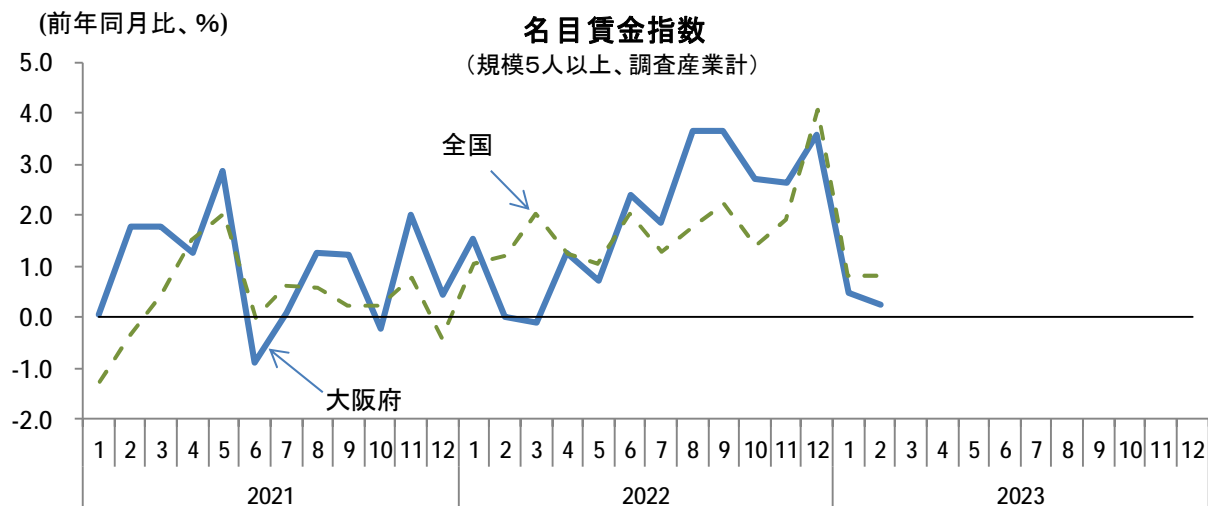
○所定外労働時間指数【大阪府(2月)は2ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2020年=100)による。

		23年1月	2月	3月
指数	大阪府	103.5	104.7	
前年比 (%)	大阪府	4.8	1.2	
	全国	1.1	2.1	

○名目賃金指数【大阪府(2月)は11ヶ月連続の上昇。】

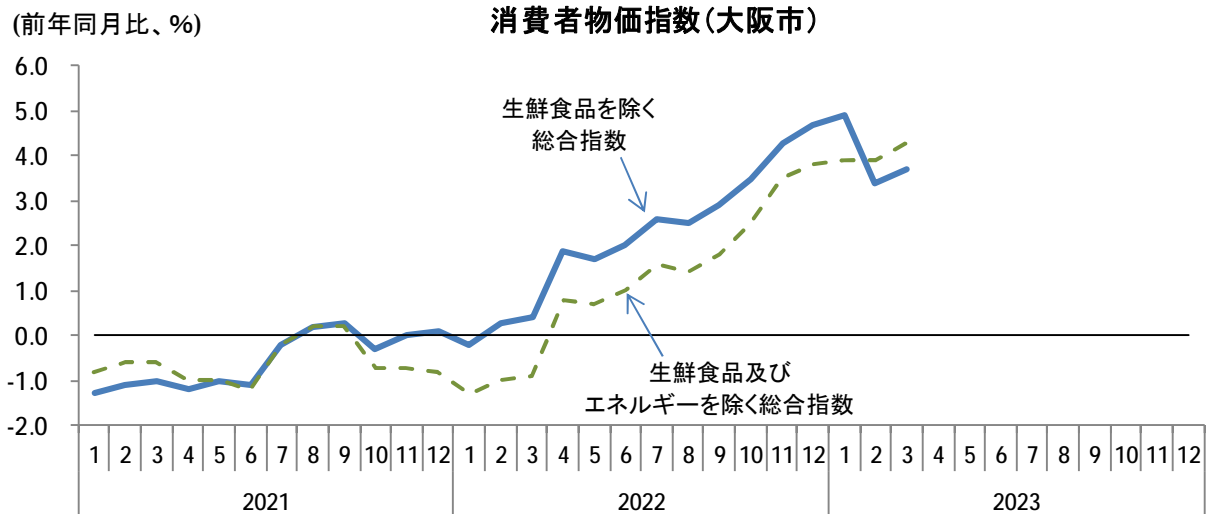


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2020年=100)による。

		23年1月	2月	3月
現金給与総額(円)	大阪府	280,400	276,105	
前年比 (%)	大阪府	0.5	0.2	
	全国	0.8	0.8	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 14 ヶ月連続の上昇。「食料」「家具・家事用品」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 12 ヶ月連続の上昇。】



総合指数

		23年1月	2月	3月
指数	大阪市	104.8	104.0	P 104.5
前年比 (%)	大阪市	5.0	3.6	P 3.9
	全国	4.3	3.3	3.2

生鮮食品を除く総合指数

		23年1月	2月	3月
指数	大阪市	104.4	103.6	P 104.2
前年比 (%)	大阪市	4.9	3.4	P 3.7
	全国	4.2	3.1	3.1

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

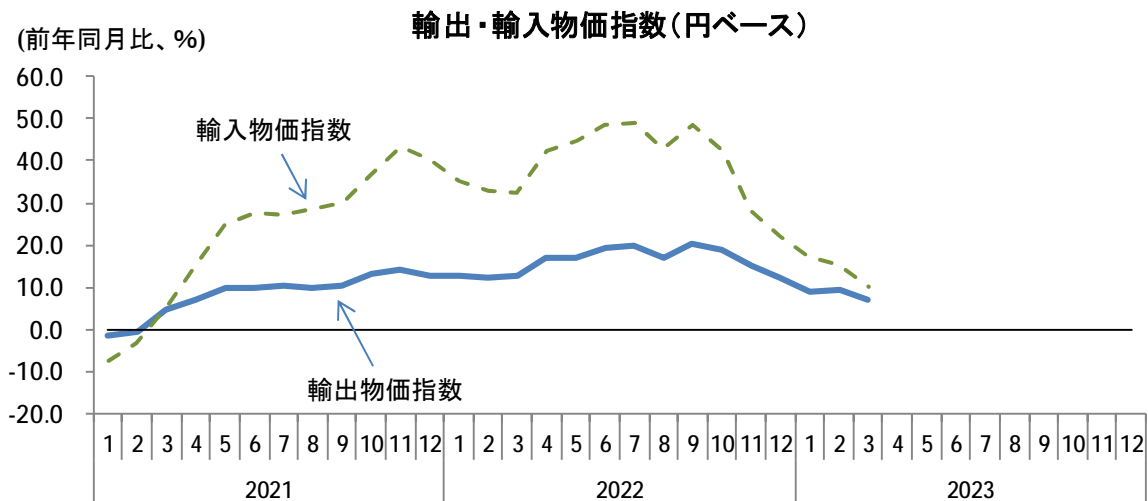
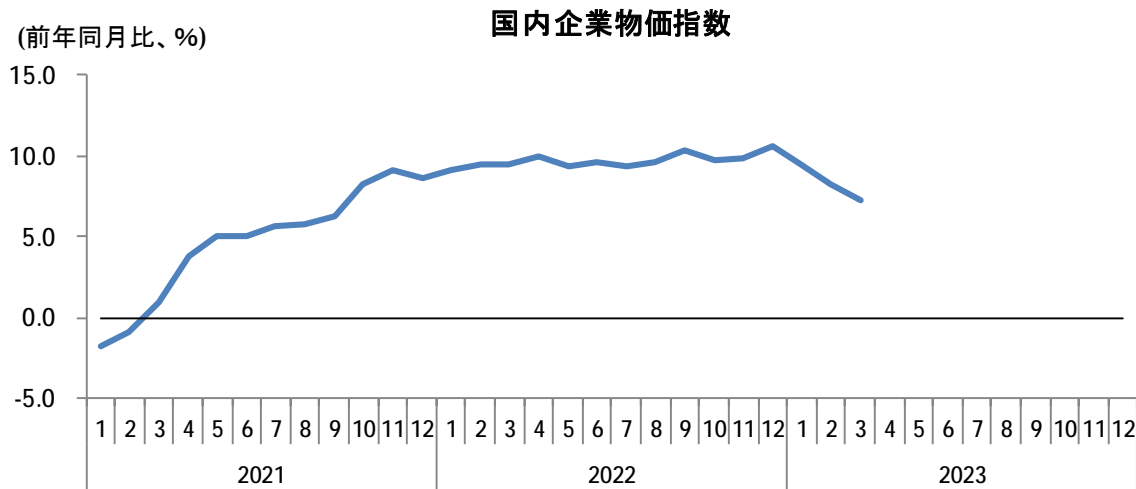
		23年1月	2月	3月
指数	大阪市	102.8	103.2	P 103.8
前年比 (%)	大阪市	3.9	3.9	P 4.3
	全国	3.2	3.5	3.8

総合指数において主に変動した分類 (大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、3月速報)

上昇	食料(8.8):魚介類(あじ、さけ、ほたて貝)、肉類(豚肉(輸入品)、ベーコン、味付け肉)
	家具・家事用品(11.4):家庭用消耗品(ティッシュペーパー、洗濯用洗剤、ラップ)、室内装備品(照明器具、カーペット、クッション)
低下	光熱・水道(▲3.7):電気代(電気代)

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は2020年=100。

企業物価指数

	23年1月	2月	3月
国内企業物価指数	119.8	119.4	P 119.4
輸出物価指数	123.9	125.7	P 126.4
輸入物価指数	162.8	164.2	P 162.2

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2020年=100。

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(3月速報、寄与度(%))

上昇	石油・石炭製品 (0.13) : ガソリン、軽油、ジェット燃料油
	農林水産物 (0.03) : 牛肉、鶏卵、精米
低下	電力・都市ガス・水道 (▲0.20) : 事業用電力、都市ガス
	木材・木製品 (▲0.04) : 住宅建築用木製組立材料、集成材、普通合板